

～「かんたん号外く

ん」

を使って

青山学院

中等部

林 謙二

二〇二二年度

二年 国語 平家物語新聞」

教科書(光村)に掲載されている場面から

産経新聞社「かんたん号外くん」を使って

号外新聞を作成する。

学習に「新聞作成」を積極導入 青山学院中等部

2022/11/21 19:05

X ポスト X 反応 f BI 共有

学ぼう産経新聞 | お知らせ ライフ | 教育



掲示された「かんたん号外くん」で作った号外新聞＝東京都渋谷区の青山学院中等部

青山学院中等部（東京都渋谷区）では学習に新聞作成を積極的に取り入れている。今月5、6日に行われた中等部祭（文化祭）には生徒が作った新聞が展示され、訪れた保護者らの注目を集めていた。

国語の授業では2年生が、産経新聞のオリジナル号外作成アプリ「かんたん号外くん」を使い、「平家物語」から、那須与一（なすのよいち）の「扇の的」を題材に新聞を作った。

展示された号外には「与一、一撃で射抜く」などストレートに表現された見出しが並んだ。一方、「与一、人々の心を射る」「でかした那須与一 扇に見事命中 大成功！の、その後で…」とひねりを加えたものも。

指導した林謙二教諭は「見出しには、記事の要約のほか、読む人の心をくすぐり、興味をそそる働きもある。生徒は工夫していたのが分かる」、達富悠介教諭は「状況や場面に応じて、必要な情報を最低限の文章で表現するコンパクトライティングという技術がある。見出しは、コンパクトライティングを学ぶのにふさわしい」と評価した。

週刊

「号外くん」で「平家物語新聞」 国語力を育成 青山学院中等部

2022/10/21 20:06

X ポスト X 反応 f BI 共有

学ぼう産経新聞 | お知らせ ライフ | 教育



「かんたん号外くん」に見出しを打ち込んでいく生徒＝東京都渋谷区の青山学院中等部

「きょうはいよいよ新聞を作ります。タブレットを出してください」

青山学院中等部（東京都渋谷区）2年生の国語。林謙二教諭がIDとパスワードを黒板に書き出すと、生徒らは「かんたん号外くん」にログインした。

前回の授業までに『平家物語』の「扇の的」を終了。要約にあたる「リード」、5W1H（いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように）を織り込んだ「本文」など新聞の構成を学び、扇の的を題材とした記事を、生徒は完成させた。

この日は、見出しを考えるのが課題だ。

「見出しとは、それを読んだだけで大まかに内容が分かることと、読者が読んでみたいと思わせる必要があります」

週刊

林教諭は手本として作った『平家物語』を題材にした新聞を見せ、「読者の感情に訴

二〇二三年度

一年 国語

角川ビギナーズクラシック

竹取物語」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）には冒頭のかぐや姫の誕生」の場面と 車持皇子が蓬萊の玉の枝をとってきた作り話」を語る場面が掲載。

その他の場面に焦点を当てて号外新聞を作ることを課題とした。

二〇二四年度

二年 国語

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

- ・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

「走れメロス」号外新聞づくり

- 1 教科書p.196～211のうち、一場面を選ぶ。
- 2 その場面を簡潔に説明するリード文を176文字以内でまとめる。
※Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
3. その場面の詳しいことや自分がどう思ったか、登場人物の人物像、作者太宰治の思いなどを本文にして、624文字以内にまとめること。
※同じく、Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
4. 主見出し(7～10字)・そで見出し1(7～8字)・そで見出し2(7～10字)を考える。
注意点 ①記事の内容がわかるような見出しにする。
②魅力的な見出しにするが、うそを書いてはいけない。
③同じ単語が重ならないようにするとよい。
5. 貼り付ける画像を選ぶ。その際、著作権に注意すること。
基本的には「フリー素材」もしくは自分の作品から選ぶこと。
————— ここまでを事前に準備すること —————

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

「走れメロス」号外新聞づくり

- 1 教科書p.196～211のうち、一場面を選ぶ。
- 2 その場面を簡潔に説明するリード文を176文字以内でまとめる。
※Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
3. その場面の詳しいことや自分がどう思ったか、登場人物の人物像、作者太宰治の思いなどを本文にして、624文字以内にまとめること。
※同じく、Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
4. 主見出し(7～10字)・そで見出し1(7～8字)・そで見出し2(7～10字)を考える。

注意点 ①記事の内容がわかるような見出しにする。

②魅力的な見出しにするが、うそを書いてはいけない。

③同じ単語が重ならないようにするとよい。

5. 貼り付ける画像を選ぶ。その際、著作権に注意すること。

基本的には「フリー素材」もしくは自分の作品から選ぶこと。

————— ここまでを事前に準備すること —————

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

「走れメロス」号外新聞づくり

- 1 教科書p.196～211のうち、一場面を選ぶ。
- 2 その場面を簡潔に説明するリード文を176文字以内でまとめる。
※Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
3. その場面の詳しいことや自分がどう思ったか、登場人物の人物像、作者太宰治の思いなどを本文にして、624文字以内にまとめること。
※同じく、Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
4. 主見出し(7～10字)・そで見出し1(7～8字)・そで見出し2(7～10字)を考える。

注意点 ①記事の内容がわかるような見出しにする。

②魅力的な見出しにするが、うそを書いてはいけない。

③同じ単語が重ならないようにするとよい。

5. 貼り付ける画像を選ぶ。その際、著作権に注意すること。

基本的には「フリー素材」もしくは自分の作品から選ぶこと。

————— ここまでを事前に準備すること —————

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

「走れメロス」号外新聞づくり

- 1 教科書p.196～211のうち、一場面を選ぶ。
- 2 その場面を簡潔に説明するリード文を176文字以内でまとめる。
※Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
3. その場面の詳しいことや自分がどう思ったか、登場人物の人物像、作者太宰治の思いなどを本文にして、624文字以内にまとめること。
※同じく、Wordに事前に書いておき、残しておくこと。
4. 主見出し(7～10字)・そで見出し1(7～8字)・そで見出し2(7～10字)を考える。

注意点 ①記事の内容がわかるような見出しにする。

②魅力的な見出しにするが、うそを書いてはいけない。

③同じ単語が重ならないようにするとよい。

5. 貼り付ける画像を選ぶ。その際、著作権に注意すること。
基本的には「フリー素材」もしくは自分の作品から選ぶこと。

————— ここまでを事前に準備すること —————

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

「走れメロス」号外新聞づくり

6. タブレットで、「学ぼう産経新聞」のサイト
(<https://www.sankei.com/nie/>)を開き、「かんたん号外くん」をクリックする。
7. ログインする。ログインID ao~~~~ ※パスワードは授業内で知らせます。
8. 上段の「日付」「新聞名」「発行者(例・2D(1)青山太郎)を入力する。
9. 主見出し・そで見出し1・そで見出し2・画像・リード文・本文を貼り付けること。
10. 画像下の「絵解き(キャプション)」に「どのような画像(場面)か」を入力する。
11. 「作った新聞を確認」をクリックし、「PDFでダウンロード」し、保存する。
12. 保存したデータをteamsに提出すること。

走れメロス」を読み、号外新聞を作成

・教科書（光村）に掲載されている「走れメロス」から一場面を選び、号外新聞を作る。

「走れメロス」号外新聞づくり

注意

- ・6～10の作業途中の状態では保存することはできません。授業内で時間が足りない場合は6からやり直すことになります。
- ・指定された時間内でのみ、利用・作業すること。
- ・IDやパスワードを無関係な人に教えないこと。
- ・他人を傷つける内容や嫌がらせになる内容の記事・写真を掲載しないこと。
- ・写真やイラストの著作権に気をつけること。
- ・授業で指示された内容以外は掲載しないこと。授業担当の先生の指示に従うこと。
- ・個人情報の扱いに気をつけること。

～「かんたん号外く

ん」

を使って

青山学院

中等部

林 謙二

生徒の力

見出しに学ぶ

短くまとめる

印象づける

ことばの選び方



～「かんたん号外く

ん」

を使って

青山学院

中等部

林 謙二

生徒の力

見出しに学ぶ

短くまとめる

印象づける

ことばの選び方



教員の目を開かせる

評価への気づき

～「かんとたん号外く

ん」

を使って

青山学院

中等部

林 謙二

三学期は

平家物語」

号外新聞作り

角川ビギナーズクラシック

平家物語」を読み、

一場面を選んで

号外新聞を作る予定